



学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」

No.16

庄内西小学校だより

令和4年(2022年)9月26日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』でご覧ください。



自分らしく生きる～LGBTQについて知る～



最近では、カミングアウトして活動する芸能人も増え、LGBTQという言葉を目にする機会が多くなりました。セクシャルマイノリティー(性的少数者)と呼ばれたりしていますが、実は「AB型の人や左ききの人ぐらいの割合でいる。」と言われていて、クラスに何人かいても不思議ではありません。そんな子どもたちが、自らの性的特性に気づいた時に、悩んだり苦しんだりしないよう、また、周りの子どもたちが、正しい理解のもと、適切な関わりが持てるよう、井上鈴佳さん(もと保健室の先生)に出前授業をしていただきました。(※鈴佳さんはレズビアンです。)



L(レズビアン)⇒⇒⇒⇒女性を好きになる女性

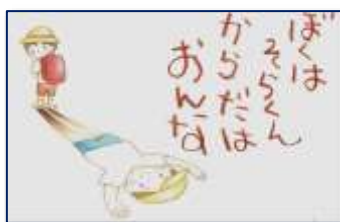
G(ゲイ)⇒⇒⇒⇒男性を好きになる男性

B(バイセクシュアル)⇒⇒女性も男性も好きになることがある人

T(トランスジェンダー)⇒うまれた時の体の性別と違う性別で生きる(生きたい)人

Q(クエスチョニング)⇒自分の性別がわからない、決められない人

井上さんのお話の中で、「体は女の子だけど、心は男の子」の「そらくん」の紙芝居が紹介されました。女の子の服装や持ち物などに違和感を持ちながらも、様々な「壁」があると感じ本当の自分を隠すようになっていった「そらくん」ですが、井上鈴佳さん(すーちゃん)と出会って「自分らしく生きる」ことができるようになりました。今は、鈴佳さんのパートナーとして一緒に暮らしておられます。



レズビアンやゲイの結婚が、当たり前認められている国もあれば、見つければ死刑にされるという国もあります。日本はまだ、同性では結婚できない国ですが、「LGBTQ」を理解し支えようとするALLY(アライ=味方)の存在は増えています。教育現場でも、多くの学校が、ジェンダーレスの制服や水着を導入しています。

鈴佳さんには、「『男らしく女らしく』にとらわれず『自分らしく』生きること」や、「多様性を認めること」の大切さを教えていただきました。自分とは違うからと、避けたり攻撃したりするのでなく、その違いを認め合い支え合える子どもたちでいてほしいと思います。

子どもたちの感想を一部、紹介します。(今回お話を聞いたのは高学年のみです。)

今日話を聞いて、「男だから」「女だから」関係なく、その人の気持ちによりそって接してあげることが大切なんだなあーと思った。もしかしたら、身近に気づかずに、体と心がちがう人もいるかもしれないから、自分の心にも真っすぐに向き合うことが大切なんだなあーと思った。(4年)

ありのままの自分でくらしていったらいい。誰かに何か言われても、自分の好きな方でいい。自分の好きな道を行って楽しくくらしたらいい。井上先生は、とてもやさしくて元気な先生だと思います。かみしばいの中のすーちゃんがやさしくて「そらくん」や「そらちゃん」のなやみを少しずつ解決して行って、とてもかっこよかったです。(4年)

LGBTの人は思っていたより困っていて、本当に大変なんだなと思った。これから、困っている人を見たら、ちょっとでも助けてあげられたらいいなと思った。世の中にはいろんな生き方があって、それが一般的になったらいいと思う。(5年)

今日、LGBTの話聞いて、私は、見た目はそうでも、心はちがう(こともある)から、見た目で判断したらダメだと思いました。何も知らずに、その人を責めたらだめだと思う。その人にも、みかたがいたら安心すると思う。そんな人も安心できる社会ができたらいいいなと思う。協力が大切だと思う。(5年)

私には好きなアイドルがいます。Aさんは、同じグループのBさんをすごく可愛がっています。そんな二人を見ていた母は、「ちょっとAくんゲイっぽいよね。」と言ってきたのです。私は言いました。「別に悪いわけじゃないよね?自分の個性だしやりたいことやってるだけじゃない?Aくんは可愛いしカッコいい。Bくんも一緒。AくんはAくんで、BくんはBくんでかわりないじゃん!!」母は「・・そうだね。悪いわけじゃないな・・」と言ってくれました。こうやって理解してくれるのはとてもうれしいことです。こんなことが続いて、多くの人気が気づいてくれば、みんな、とても生きやすいと思います。もっと井上さんの話をたくさん聞いてみたいです。

(LGBTの人が)自分の知らないところで、困っている、大変な思いをしていることをあらためて知りました。もし、今後、生きていって、そういう人を見かけたら…、出会ったら…、困っている時に…、大変な思いをしている時に…、どう、助けたらいいのか、どう、サポートしたらいいのか、今日、井上さんの話を聞いた中で、みんなと話し合ってたので、よくわかりました。(6年)

LGBTの人を見かけた時に、差別したりするのでなく、やさしく話しかけたりその人の気持ちを尊重して行動できたらいいいなと思った。LGBTの人が困ったり悩んだりしているときに、気軽に相談してもらえよう人な、自分がなれたらいいなと思った。LGBTの人に対して差別したりしている人を注意したり説明したりできるようになれたらいいなと思った。(6年)